

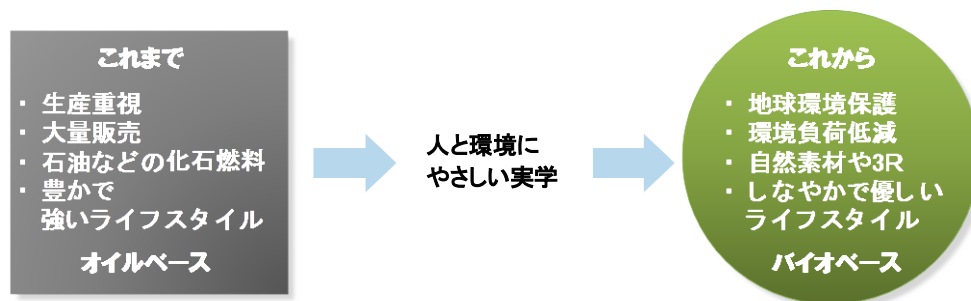
## 【サステイナブルデザイン力育成プログラム】

—1200 余年にわたる、ものづくり 都市・京都の知恵を活かした人材育成—

### 1. 本取組みのねらい

本取組は 1200 余年も循環型生活様式を継承してきたものづくり都市「京都の知恵」から、今日的な環境問題の解決手法を学び、地域創成を推進する人材の育成を目的とした教育プログラムです。

サステイナブルデザインとは、可能な限り地球環境へ負荷をかけない製品やライフスタイルを創出し、新しい生活価値や美意識を創造することをいいます。本取組における「サステイナブルデザイン」は特に「ものづくり」に視点を置き、「サステイナブルデザインをつかさどるものづくり」の要件を定めこれらを満たすものと位置づけています。



サステイナブルデザインの方向性

### 2. 概要

本プログラムを導入の意図は、京都の先人の知恵を見直し、サステイナブル視点によるライフスタイル創造力を総合的に修得するためのものです。

「サステイナブルデザインプログラム」では

- ① 全学共通講義「サステイナブルデザイン関連講義」、
- ② 課題探求能力・解決能力を養う「サステイナブルデザイン演習」
- ③ 選択受講できる「関連専門科目」
- ④ 個々人の能力を高める「卒業研究」・「インターンシップ」
- ⑤ 課程修了時に大学独自の評価認定「サステイナブルデザイナー」を取得できること。からなっています。

### 3. 認定評価の考え方

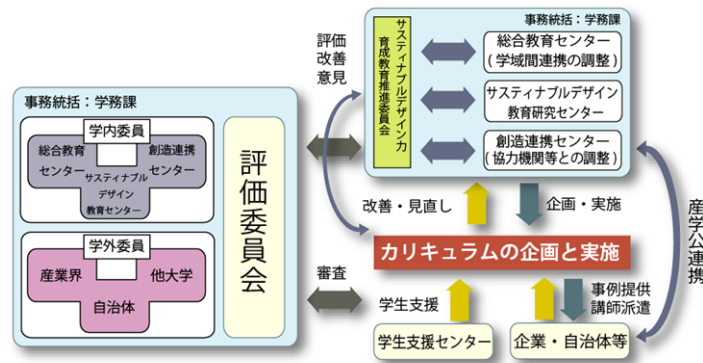
本取組の特長として認定評価制度があります。認定基準は 4 つのスキルと 3 段階のレベルを用意し、初級、一般、上級のサステイナブルデザイナーを輩出してまいります。

サステイナブルデザイン力	プランニング力	地球温暖化防止(CO2削減)や資源・生産効率化を目的としたエコ計画力及び実行力
	クリエイティブ力	3R ((Reduce/Reuse/Recycle)やG P (グリーンプロダクツ)等の環境に配慮した、永く愛されるエコデザインを生む力
	コミュニケーション力	市民やNPOとのパートナーシップを築き、社会に向けて自ら情報発信できる力
	マネジメント力	エコ知見による人材育成・経営指標化・エネルギー事業等の重要性和CSR (企業の社会的責任)を理解し、サステイナブルなマネジメント運営力

### サステイナブルデザイン力

#### 4. 取組みの仕組

本取組は、計画立案・運用の「育成教育推進委員会(仮)」を核として、学域間連携の調整を行う「総合教育センター」及び実務推進の「サステイナブルデザイン教育研究センター(仮)」、産学公連携の要として学外の全体調整を行う「創造連携センター」が連携し推進いたします。また教育効果を評価する学内外から成る「評価委員会」を設置し、多面的な評価を行いフィードバックできる仕組をとります。

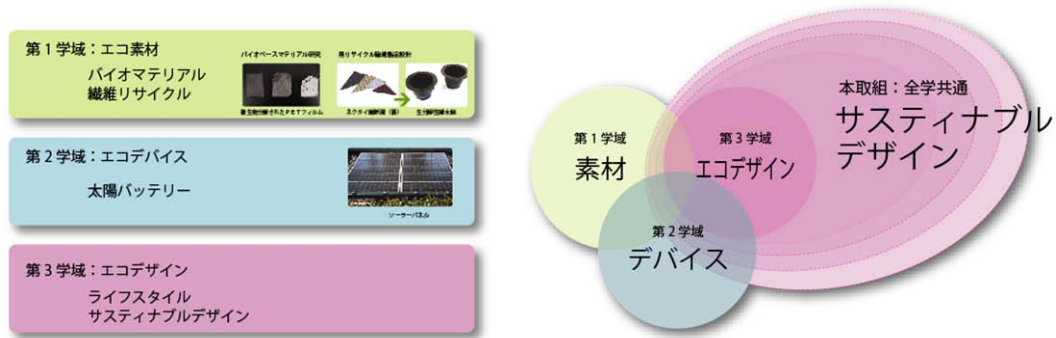


評価体制

#### 5. 循環型社会と本学の位置づけ

2009年1月、米国オバマ大統領が就任し「グリーン・ニューディール政策」を掲げました。また各国でも続々と同様の政策が提示されています。日本でも環境大臣から日本版グリーン・ニューディール「緑の経済と社会の変革」が公表され、各種事業、最先端産業による取組だけではなく「地域の活力」を活かした取組が掲げられており、本取組はこれらの指針などを鑑みて計画作成しています。

「科学」と「芸術」から成る本学は、創立以来「ものづくり」を主眼におき高度専門技術者育成を進めてまいりました。昨年より京都府の「京都エコスタイル製品」選定の連携協力や、先行する生分解性ポリ乳酸研究、ソーラーバッテリーの研究を行っています。本学の位置する京都は、1200余年以上環境負荷の少ない循環型の生活様式と文化を形成してきました。これは、地域資源を循環・自己完結させ、しかも雅な都文化＝を創出してきたといえ、その過程で蓄積してきた「京都の知恵」を教育に取り入れることで、次代の環境問題解決力を身につけることを意図したものです。



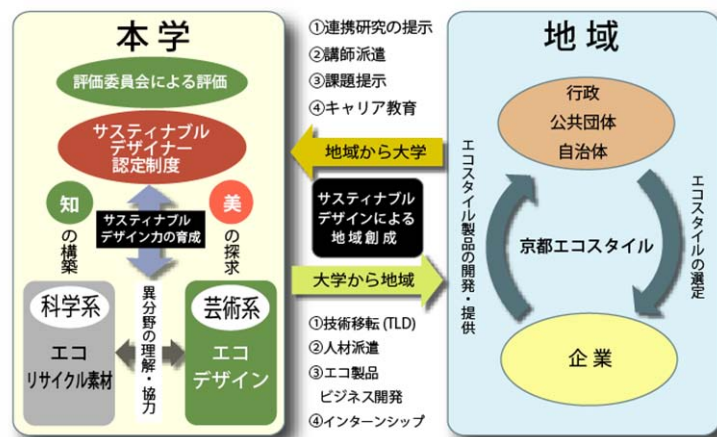
本学の取組みとサステイナブルデザインの位置づけ

## 6. サステイナブルデザインの先行事例

- a. イリノイ工科大学大学院では、ビジネススクールにエコデザインコースがあり、数年前から毎年数十人の学生が学び、関連企業や官庁からの具体的な事案に応じています。企業からのプロジェクトをテーマに修了することが可能であり、エコデザインのプロとして起業する学生もいます。
- b. NYのプラットインスティテュートのデザインマネジメントコースでは、エコデザインをテーマにして学位取得する学生が増えています。
- c. NYのSt. ジョーンズ UNV.は文系の大学ですが、美術専攻ではエコデザインを学ぶ学生が増えています。ここ1、2年グラフィックデザイン志向の学生の中にエコデザインを希望する学生が非常に多く、パッケージやエコを用いた販売促進に関心が高いと聞いています。

## 7. 大学と地域が一体となってつくりあげるプログラム

本取組の目的は「京都の知恵」からその考え方や手法を学び、サステイナブルデザイン力を身につけ、地域に貢献する「サステイナブルデザインによる地域創成」を目指すことが大きいねらいです。このスキルは本学の特長である知と美に支えられた高度な専門性であり、大学の形式知と地域の企業やその企業を支える技術の暗黙知の総和で作り上げられるものです。



目標とする「サステイナブルデザインによる地域創成」構築モデル図

## 8. サステイナブルデザインの要件

本取組ではサステイナブルデザイン要件を掲げ、対象とするデザインの方向性を明確にしています。一般的にエコは広範囲にまたがるが、本取組は「ものづくり」のコンセプト、製造・販売・廃棄・再生を対象としています。その理由は、

- a. 地域の求める人材像や本学理念に基づいて「ものづくり」と「ライフスタイル創出」を対象としている。
- b. 行政企業の課題を【教材】として活用することで、現場力を身につけ、また実践的創造能力を効果的に向上させることができる。
- c. 海外での高度専門技術者教育に比べて早期より体系的に進め、高度な教育内容を早期より多くの学生対象に提供することができる。
- d. 入学当初から学生自身が率先して学習意欲を持ち、自ら学ぶべき知識と技術を把握し、学生個々人が自発的に研究テーマを設定し卒業することができる。

また、講義や演習等から地域企業の課題を把握することで、自ら気づき、すすんで地元との強い繋がりのある研究テーマを選択し、問題解決に向けて研究をすることで地域の活性化につなげることができるといえます。

## 9. 本プログラム履修の流れ

本取組は「サステイナブルデザイン力」育成のため、大学入学時より卒業時までの一貫教育として

A. サステイナブルデザイン関連講義科目と国際フォーラム、B. サステイナブルデザイン演習、C. サステイナブルデザイン専門科目、D. 卒業研究 をすすめてまいります。

主要な講義は、サステイナブルデザインに関わる分野の専門家をリレー形式で招聘し、全学共通選択科目として新科目「京（みやこ）のサステイナブルデザイン」を開講いたします。初年度はフィージビリティスタディ。また、地域にも開放いたします。

演習はサステイナブルな社会の課題解決をテーマとして担当教員と企業からの派遣講師が合同で演習教育を実施します。

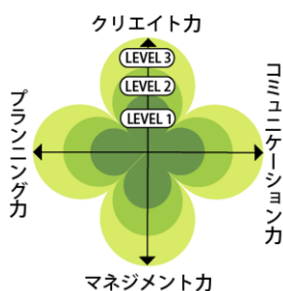
本プログラムの仕上げとして、卒業研究やインターンシップ、キャリア教育があります。卒業研究は、地域企業の協力も得てサステイナブルデザインスキルを上げるとともに、将来の仕事として捉えています。加えて関連企業へのインターンシップを率先して行ってまいります。

区分	授業科目名等	平成21年度	平成22年度	平成23年度			
1年	KIT入門	▶	▶	▶			
2年	京の意匠(KIT教養科目)	▶	▶	▶			
	マテリアルデザイン論(専門科目)	▶	▶	▶			
	京のサステナブルデザイン(KIT教養科目)	▶	▶	▶			
	経営デザインストラテジー(専門科目)	▶	▶	▶			
3年	環境価値創生論(KIT教養科目)	▶	▶	▶			
	サステナブルデザイン演習(専門演習)	▶	▶	▶			
	サステナブル設計論(専門科目)	▶	▶	▶			
	経営戦略論(専門科目)	▶	▶	▶			
	デザイン経営工学演習(専門演習)	▶	▶	▶			
	京の伝統工芸一技と技(KIT教養科目)	▶	▶	▶			
4年	卒業研究(地域創成関連研究を導入)	▶	▶	▶			
教育支援	産学公連携強化	連携比率 35%	連携比率 45%	連携比率 50%			
運営評価	サステナブルデザイン力育成教育推進委員会	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	評価委員会	▲	▲	▲	▲	▲	▲

本年度からの授業演習カリキュラム

## 10. 認定制度

本取組は「サステナブルデザイナー認定制度」を設けています。この仕組みは学生の達成度が明確となり、自己評価に伴うモチベーションを維持し続けることが出来ることも特徴です。1年次よりサステナブルデザイン関連科目を開講し、2年次・3年次に多くの科目演習を行います。また、学生自身が関連講義を選択受講しながら、学生自身の求めるサステナブルデザインスキルを高めることが出来るように工夫されています。それぞれの科目がどのスキルを高めるために開講しているか明確に提示しており大学入学時より無理なくキャリアパスを描くことが出来るのが特徴です。



難易度	取得資格	取得条件	マーク
LEVEL 1 (初級)	ジュニアサステナブルデザイナー	「KIT教養科目」と「専門科目」を合わせて10単位以上取得	🍀
LEVEL 2 (中級)	サステナブルデザイナー	「LEVEL 1」マスターの上、「専門演習にて実用化に向けた製品提案」または「インターンシップに参加」	🍀
LEVEL 3 (上級)	シニアサステナブルデザイナー	「LEVEL 2」マスターの上、提案が製品化に向けて採用されること	🍀

サステナブルデザイナーの認定

## 11. サステイナブルデザインフォーラム

本取組みの中で世界のトップ研究者などを招聘して最新の進め方などを学ぶフォーラムを用意していきます。講演会とパネルディスカッションを一般開放し、本プログラム協力企業や行政にも開放いたします。